



平成28年 3月15日

2・3・4面	松川町公民館研究
集会	
5面	みんなで仲良くみんなの宝
6面	スポーツ・情報
7面	まつかわ大学
8面	こどもの詩・短歌
	福祉を考える集会・視点
	べんべん草



まつかわ百景 ⑧

「御射山神社 御柱 一之柱」

幹回り3メートルの巨木。

7年に1度の御柱祭が今年
の4月2日に行われます。
松川町上片桐、中川村片桐・
葛島、飯島町七久保の旧七ヶ
村からなる郡をまたいで伊
那谷で一番大きな御柱祭とな
ります。

神社としましても今回50回
目の節目の祭りという事で、
昨年の6月ころより祭典委員
会、常任委員会を発足させ会
議等を開き日程、その他を決
めてまいりました。

すでに昨年の10月
24日には柱休め、11
月5日に御神木とな
る柱の見立て祭を行
い、一之柱に上片桐、
二之柱に葛島、三之
柱に片桐、四之柱に
七久保が決まり、特
に一之柱となった上
片桐の柱は幹回りが
3メートルという大
変立派な柱です。

11月22日には伐採
がおこなわれました。

今年に入り2月6日には諏
訪大社へ御符、薙鎌の拝戴に
祭典委員全員で行き大社四社
を参拝してまいりました。

21日には柱の曳行コースの
下見、渡御行列のコース下見
を行いました。

27日には片桐三自治会によ
る引き綱の縄ないが行われま
した。この綱は蛇の頭のつい

主張

御射山神社式年大祭

た独特なもので御射山神社だ
けのものです。又、同日城氏
子会により神社境内の準備作
業が行われ御柱ができるよう
になりました。

今後の日程としましては3
月12日に各係の打ち合せ全体
会議を約150名が出席して行い、
21日には大沢南部上の堤より
山出しが盛大に行われます。

4月1日は前夜祭という事
で夕方に祭事、夜は煙火の打
ち上げもあります。

2日の御柱祭当日、
朝7時に渡御の出発、8
時半に県道のバイパス
下より一ノ柱の曳行が
始まります。午後2時
過ぎより建て御柱が行
われ、最後に出し物の
奉納があり、その後終
了の予定です。

前夜祭の折に打ち上
げられる煙火は各企業、
商店、個人の方々、各
方面よりの御寄付のた
まものであり、役員の一と
して心から御礼申し上げます。

ぜひ多くの皆様方に見物し
ていただき、又、御射山神社
に参拝していただきたいと思
います。

最後にこの祭典が盛大で、
無事に終了する事を心より祈
念申し上げます。

御射山神社氏子総代
小木曾秀樹

若者バックアップ

願いを形に the 公民館

第53回
公民館研究集会
2月28日(日)
町民体育館

事例発表

「若者」をテーマに3年にわたって考えてきた公民館研究集会。その3年目の今回は、公民館として何ができるのか、町に対して提案できることはないかなど、具体的にまとめようと取り組みました。

4つの小テーマをもとに、公民館の本館・地区館をはじめ、地域の皆さんが、若者が夢や希望を持ってこの町で暮らすために必要なことを考えました。

■ 若武者

農家の後継者、あるいは若手農業者・新規就農者が集まり、農業の生産技術の学習や情報共有、そして会員同士の交流をしています。
楽しい仲間たちと地域の人々を巻き込んだ最高の農業を目指そうと取り組んでいます。

■ 元成人式実行委員

ここ数年に成人式を終えたばかりの、まさに若者！



約100名が参加し盛大に行われた

20代前半の皆さんが、成人式だけで交流が終わってしまうのはもったいないと、自由に集まって交流しています。スポーツ交流やソーセージ作り体験など、その都度やりたいうことをしています。何かのイベントが行なわれることを待つのではなく、自ら行動して元気な若者の交流を目指しています。

■ スケボー教室

スケボーは不良のスポーツ？ いろいろ、そんなことはないのです。松川青年の家の松川プログラムの1つとして今年度行なわれてきたスケボー教室では、大勢の子どもたちが参加しました。そして、「またやりたい」という多くの声がありました。

できる場所がないから夜な夜な薄暗いどこかの駐車場をやっている…。それが不良のイメージをつけてしまったようですが、公的にできる場所があれば健全なスポーツなのです。

■ アップルジャム

マークンカード事業協同組合が主催する音楽ライブイベント、それがApple Jam(アップルジャム)です。主催はマー



若者が自らの体験を発表

くんカードですが、内容を決めているのは一人の若者。「自分が見たい、聞きたい」と思うグループを招いてライブを行なっています。そして、あえて田舎っぽさを出し、気楽で楽しいイベントにしています。一人で決めているのに、周りの人たちにバックアップがあつてこそ。毎回大勢のお客さんが会場を訪れます。

ワールドカフェ

事例発表のあと、若者バックアップについて、参加者が意見を申し合いました。

去年に引き続き、少人数グループに分かれて話し合うワールドカフェという方法で、お茶を飲みながら気楽に意見を申し合いました。

グループで出された 主な意見

■元氣な未来の くだもの里

松川町といえばコレ！というものを目玉として発信し、そこからさらにそのほかのものも知ってもらおう。

都会から来てもらって買ってもらおうのが理想。松川町のPRや販売経路の確立など、バックアップできるような体制が必要。

農業に対してよくないイメージを持たれない努力が必要（もうからない・きつい・休みがない…など）。

休みが取れ、余暇が楽しめ、自分の時間も持てる。もうかる農業、イメージアップを図る。若者が地元に住みやすくな

るよう子育てに関わる環境の整備も必要。

松川インター周辺はあまり開発しすぎないように。今の緑が広がる風景を残すほうがよい。

イターン・Uターン者の支援。

■みんながつながる 楽しい集いを

新しくできる公民館を使つて後継者を養成。子どもこのころから地域の行事を教えるべくことで後継者が生まれる。

新しい公民館を使つて誰もが講師になれる講座をつくる。そうすれば若者も子どもからお年寄りまで教えることができる。そういう場の提供。

研究会も堅苦しい。お祭り感覚でやってみては。

公民館も硬いイメージ。入りやすいイメージづくりの活動をしていく。親近感があり、使いやすい公民館になってほしい。

自治会などの回覧板とは別に、若者向けの回覧板ができると若者にも地域の情報が行き届くのではないか。

今日出た意見を参考にいろいろなこと挑戦していけたら。

■一人一人が生きがいをもてる 学び、スポーツを

若者はやりたいことはあるが、できる場所が少ない。場所づくりのために公民館を利用できるとよい。

できる環境をつくることで、子どもからお年寄りまで広めることもできる。その機会をつくるには周知が大切。広報や新聞だけでなく、もつと多くの人に広めていくことが課題。

公民館が、若者がやりたいことを広められるよう大きな

受け皿になれば新しい公民館もよい方向に進むのでは。

公的な場所をもつと気楽に簡単に借りられることができ

れば、定期的に使えるなど。社会教育団体などに加入することで実績をつくり、大勢

に知ってもらうことで認められ、公的な場所の利用がもつ

とできるようになるのでは。スケボーやボルダリングを

広められるチャンスがほしい。中学の部活のように実際に見

たり体験したりできる場所ができれば、もつと周知できる。

■人が集まり、より楽しく 過ごせる商店街へ

お店のことは各店舗の人たちにならばってもらい、イベントを若者たちが企画してコミュニティションをとりながらやってみてはどうか。

飲食店が多いので歩道で焼肉大会を開催してみても。

人口に対して居酒屋の件数が多い。飯田市のような店を

回れるイベントがあればお店を知ってもらうことができ、入りやすくなる。

居酒屋に集まる若者も多いので、そこで何か仕掛けられるように、フェイスブックな

どのアドレスやチラシなどを配ってみては。

インターネット環境だけでは情報は広がらない。口コミ

が一番。それぞれが意識して広めていくことが大切。

空き店舗を高校生などに提供して経営してもらおう。

スポーツをする人が多いので1周500メートルくらいのコースがあるとよい。

友だちと集まったり、気楽に入れるカフェ。カラオケボックス・ゲームセンター。

情報発信の難しさはあるが、工夫して周知できるとよい。

話しが止まらないワールドカフェ



話しが止まらないワールドカフェ

若者が興味をひかれることをサポート

- ・スケボー教室をはじめとする若者事業サポート

何かを始めようとする人たちに 場所・機会・手法を提供

- ・各団体にどのように公民館を利用してもらえるかの提案
- ・若者が「なにをやるか」という段階から関わっていく

親しみやすい公民館づくり

- ・若者の興味をひく、読みたくなるような館報の誌面を研究
- ・仲間づくり、学びのきっかけづくりとして体験講座を開催
(若者向けの講座の開設、講師の募集等の工夫)

研究集会の後日、本館三部合同部員会を開き、研究集会で出した意見を踏まえ自分たちができることを考えました。

公民館研究集会 本館三部まとめ
〈本館で取り組むこと〉



久保田 さち子



湯 澤 秀 樹

平成27年度
**松川町公民館
功労者表彰**

2月28日(日)に開催された「第53回公民館研究集会」において、中央公民館、各地区公民館の活動にご尽力された12人が表彰されました。



今 村 直 秀



宮 下 祥 司



福 与 顕 一



北 澤 和 繁



佐々木 広 明



大 島 崇



大 倉 正 治



宮 沢 明 歩



瀧 澤 貴 是



中 村 昌 彦



なかよし標語

ともだちを だいじにしよう
なかよくね
北小1年 くぼた まなみ

手をつなぎ えがおいっぱい
さんぼする
北小1年 むらまつ しょうま

みんなとね いっしょにあそ
ぼ わらってね
北小1年 やざわ きゆう

だいじょうぶ きみはひとり
じゃ ないからね
北小2年 米山 こうた

やさしいな もつべき人は
友だちだ
北小2年 小木そ ことみ

あいさつは あい手がうれし
くなるんだよ
北小2年 大野 七雪

学年は かまわずあそぶ 楽
しいな
北小3年 大澤 妃美子

学校は なかよしいっぱい
いるとこだ
北小3年 原 未空

ともだちに やさしいモード
で「はい、どうぞ。」
北小3年 浦野 駿平

だいじょうぶ みんなのおう
えん がんばれる
北小4年 松田 琴音

元気出せ 一人じゃないよ
みんないる
北小4年 竹島 あかり

たくさんの方 友だちつくって
きずな深める
北小4年 大淵 仁友

あそんでね ふえるといいな
友だちが
北小5年 米村 愛羽

笑顔 いっぱい作って な
みだなし
北小5年 中村 朱琳

学校は 自分と友だち つな
ぐ場所
北小5年 松田 由梨奈

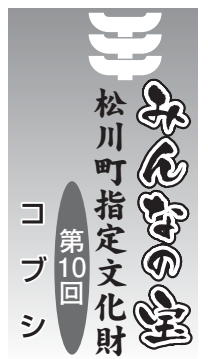
ぼくの友 みんなでいつも
助け合う
北小6年 光澤 文弥

泣いてる子 見たらいっしょ
に 遊ぼうよ
北小6年 小沢 優妃

帰り道 友だちいっぱい 楽
しいな
北小6年 北島 圭

友だちが さそってくれた
休み時間
北小6年 松尾 穂野香

いじめなし 全校クラス 仲
良しに
北小6年 竹島 ひより



平成7年6月1日、春を告
げる花として名高い「コブ
シ」が町の指定文化財になり
ました。

落葉広葉樹・モクレン科の
植物で、多く見られる自生地
は生田柄山奥、伊那山脈白沢
山尾根周辺(タムシバを含む)
に多く、大島の新井・城山・
原田周辺の段丘崖、上片桐の
清源地・大栢・城周辺の沢筋
にも自生しています。気にか
けて見ていると意外とあちら
こちらで見かけます。よって
町内一円のコブシを指定とし
ました。

生長が早くて病害虫の心配
も比較的少なく、丈夫なせい
か、高さが20メートル
近いものも町内にはあ
ります。

コブシの名前の由来
は、つぼみの形が握り
拳に似ているところか
らだと言われ、花後に
できる果実が握り拳の



ようにほこぼことした形をし
ているからだという説もあり
ます。
3月から5月にかけて、葉
が出てくる前に、6枚の花び
らをもち、直径6〜10センチ
の花を咲かせます。満開時期
になると遠目からも目立ちま
すので、容易にコブシを見つ
けることができます。春一番
を探しに出かけてみてはいか
がですか。
松川町資料館 宮崎久美

体をほぐして
さあ、スポーツ!!

第43回
地区対抗弓道大会

2月21日(日)に松川町弓道
場で第43回地区対抗弓道大会
が行われました。
結果は次のとおり。

団体戦

優勝 上新井チーム
岩村 和夫・岩村 拓生
宮下 真人

準優勝 名子チーム
野牧 初彦・笠原 武明
伊藤 久人

第3位 上片桐チーム
森岡真理子・竹村 明浩
南島 健

個人戦

優勝 岩村 拓生

準優勝 笠原 武明

第3位 竹村 明浩

射詰賞 斎藤 実

会員募集!!

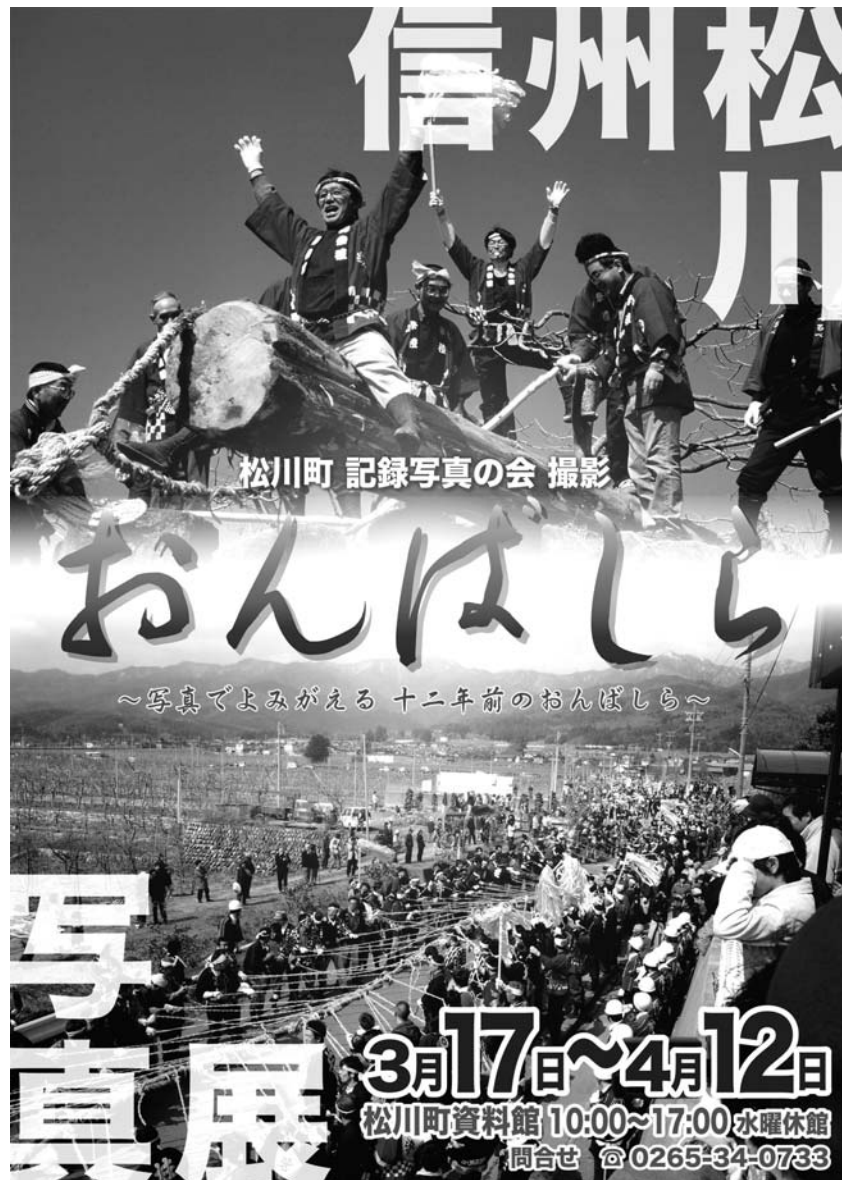
水彩画教室

身近にあるモチーフ（花・果物・
器物等）と向き合い、手軽な水彩
絵の具を使って表現を楽しみます。
毎月1回、日曜日の午前中に中央
公民館で行っています。
講師は、中学校美術科を担当し
ていた大沢 徹先生。
今回5名ほど募集します。
スタートしたばかりの教室です
ので、基礎から丁寧に学べます。
今が入会のチャンス！
若干の会費が必要。

子ども茶道教室

心を落ち着かせてゆったりと、
日本の文化を学びます。
毎月第2土曜日の13時30分から
中央公民館で行っています。
市瀬愛子先生にご指導いただき
ます。
今回若干名募集します。
材料費、茶うけの菓子代などで
年間数千円が必要。

お申込み・お問合せ先
中央公民館 電話 36-2633



毎月第3日曜日は
家族ふれあう
「家庭の日」

「みなさん、こんにちは」
良く通る声、見ている人の
微笑を自然に引き出すような
笑顔とともに村上信夫さんは
挨拶されました。

今は「ことば磨き塾」を主
宰され、対談や全国講演など
で忙しい毎日をおくられてい
る村上さんですが、子どもの
頃は口数の少ない赤面症だっ
たとか。そこで、話さなくて
も良いと将棋を始めたそうで
すが、勝負の感想を話すこと
が自然にできるよう。

そのあとは、公立高校、大
学と入試に失敗するほどの将
棋、つげの生活をされたそう。
アナウンサーの仕事

のきつかけは、大学の
新聞部の手伝いで紹介
されたことから。

その時、大先輩から、
アナウンサーの仕事と
は、人の喜びを倍にし
て悲しみを半分減ら
す”ことだと言われた
そうです。

それからマイクと一
緒に40年。大変厳しい
環境のなかにおかれる
NHKのアナウンサー
としてラジオのパーソ
ナリティをつとめられ、
ダジャレを交えた明る

い内容で「おかげさまで笑う
ことができました」と嬉しい
お便りをいただいたこともあ
るそうです。

いま、嬉しいことばの種ま
き”をしながら新しい境地を開
かれていく村上さん。

村上さんは、ことばを、人
を傷つける武器にしないよう
にと。バカ/ダメ/サイテー!
クソババア!など、人の心を
傷つけるナイフのようです。

ことばは楽器にしましょう。
スキ/アリガトウ/タノシ
イネ!トモダチダヨ!心に染
みるやさしいヴァイオリンの
音色のように。

又、自分のつぶやくことば
「私、ダメなんです」「できな
いんです」なども禁句。
そこで、朝起きて一番に鏡
の中の自分に向かって「オハ
ヨ」と楽しい一日になるよ
う言ってみることも良いそ
うです。

禁句のために落ち込む気分
になつてしまう自分を奮い立
たせるためにも、是非、お試
しあれ。

では最後に、一日を楽しく
元気に過ごせることばをご紹
介させていただきます。

嬉しいことばが 自分を変える

平成28年
2月6日

まつかわ大学第10期第4講座



ことばの種まき

講師 村上信夫氏 (“ことば磨き塾”主宰)
(撮影・鶴崎然)

- ① おはよう
 - ② ありがとう
 - ③ いただきます
 - ④ おかげさま (先祖に感謝)
 - ⑤ 良かったね
 - ⑥ だい好き
 - ⑦ 大丈夫 (全て人といふ漢字が入っている)
 - ⑧ おやすみ
- 講演は、時間が短く感じるほど充実した内容でした。
これから、相手のことを考えてことばにしよう、と改めて心に刻んだ講演会でした。

4年生の日記から

中央小4年 堀田 月海
きのつ、飯田文化会館で、「飯
伊小学校交歓演奏会」がありま
した。

わたしたちの番は9番でし
た。ドラゴンないとでわたし
はソロだったけどその時は樂
器の調子がよかつたので、いい
音が出せました。スターウオー
スでは音が出るときと出ない
ときがあつたけど、がんばれて
うれしかつたです。

全部の演奏を聴いただけで、ど
の小学校もいい演奏でした。最
後の中学校、とてもすごい演奏
でした。

わたしは中学校に行つたら、
自分の楽器ができるので楽し

みです。中学校に行つても金管
はやめたくないです。これから
も金管をがんばつていい演奏
ができるように努力したいです。

人間以外のものに

なりきつて詩を作る

いっしょに見える

ほしの ほした

(中央小4年 小木曾 魁)

人の家がいっぱいだ

火星も見える

ほかの星も見える

ちぎゅうも見える

家の中も見える

うつすら海も見える

なんでも見える

でも人が何を考えているのか
見えない

短歌

中原 朋子(東浦)

立春の満月冴えて月光は斑雪の庭冷え冷え照らす
花冷えの朝に雲の降りしきり庭先の木瓜は懸命に咲く
子の入学の記念に植えしノムラモミジ庭に位置占め紅の色
明治五年フランスよりの導入で建てし赤煉瓦の富岡製糸
賜りし蠟梅の花供えればありし日の母の笑顔顔ちくる



今月の公民館

鉄骨がほぼ組み上がり、
建物がその形を成してきました。



「もっぴっぺん考えまいか認知症」

：地域で支える様々な力たち：

第34回 福祉を考える集会 2月20日(土)

今年度の福祉を考える集会は、昨年につづき認知症のことをみんなで考えました。

何年前か。近くに住んでいた女性が、帽子をかぶってカバンをかけ、元気に歩いていました。時々声をかけると買

い物に行くとか何とか…。そのうち少し変じやないか、との話しも聞こえてきました。

一回は話しながら家のそばまで連れて帰りましたが、家

族もいらっしやることだし、どこまで干渉していいのかわからなかったりもしました。

今回の事例発表では、地域との関わり方が話され、認知症を支える新しい形の発表もされました。

自らも脳梗塞を患いながら認知症の奥様の介護をされている有賀さんの発表。

奥様が10年ほど前、不審な電話で品物を買ったのに忘れ

てしまっている、という事で認知症を疑い病院で受診されたようですが異常なし。その後、食事の支度にも支障が出るようになり有賀さんも台所に立ち見守るように。又、思うようにならないとイライラから喧嘩になったり夫婦の趣味のマレットゴルフでも感情の抑制ができなくなつたそうです。

そのあと改善も無いまま、徘徊が始まります。近くにある実家のお墓に行く回数が増え、無実家の跡地に建てられた他人の家に上がり込んでしまふ、というようなことも。

脳梗塞で右手、右足のしびれが残る有賀さんにとって、体力のある奥様を止めることも追いかけることもままならない毎日。はかりしれないほどの不安や悩み。

そんな時、専門職の皆さんのアドバイスなどから、自分の今の状況を地域の方達に知ってもらおうと、自治会の新年会で話しをされたそう。「家内を地域で見守ってほしい」有賀さんの素直な思いを具体的な方々にしたのが、包括支援センター協力のもとで作られた「徘徊見守りカード」



グループごとに話し合う



手話も交えて事例発表

そのカードを地域の皆さんに配布。何かの時には連絡できるよう緊急連絡先が書かれています。

大きな決断をされた有賀さんの勇気は同じ立場の人達の方となったと思います。

長い歴史の「福祉を考える集会」も時代背景に沿って進化しています。

これからも私達の福祉の、未来への指針となってくれることと思います。

◎2022年

この頃、動画サイトやテレビなどで大人気になっているのが「猫」です。

私は猫好きオバサンなので嬉しくてたまりません。

小学生の時から数えてみると、拾った猫はかなりの数に届きそう。雨の日に、鳴き声で猫をさがし力サを置いたままズブぬれで帰ったことも引越す前に住んでいた実家は、裏に山があつてすぐ近くに人家が無かつたために子猫を捨てていく人がいて(車で来て捨てる)鳴き声をたよりに父と二人、懐中電灯を手にさがし、母に呆れられました。

中学の頃の猫は、父の足音を聞きわけて、仕事から帰ってくるまで、からともなく現れたものです。

風呂の焚口付近が暖かく、丸くなつていた猫に気付かず祖母が火を付けたら、と猫にまつわる話はいっぱいあります。

現在も一匹飼っています。完全室内飼いです。

生き物を飼えば、楽しく嬉しいことと同時に辛い悲しいことにも直面します。お墓をつくって悲しみが癒えた頃に新しい猫を…。このサイクルが年齢を重ねるとともに長くなり、なかなか気持ちの切り替えができなくなるようです。

よく聞かれるのが、貴方はネコ派？イヌ派？これって好き嫌いなのか自分の性格のことなのか？考えちゃいますよね。

ちなみに私は、猫型の性格で猫大好き！なので完全なネコ派！でございます。

(宮下和子)

公民館報

「まつかわ」

第 629 号

平成28年3月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部

Tel 36-2633

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。